

# 東京清掃労働組合

# 一組総支部通信

一組総支部 事務局  
 一組本庁支部内 fax6238-0504  
 tel6238-0502  
 e-mail seisou-ichkumi@w7.dion.ne.jp

執行委員長 岡沢 徹  
 副委員長 教宣担当 内山健司  
 編集 教宣部長 福田雄一



一〇〇八年十月十九日より二十日まで、飯田橋清掃本部SKホールにて、一組総支部学習会が開催された。

司会には、一組総支部藤川副委員長、まとめを行う一組総支部岩田書記長の紹介。一日目は、最初に、山下一組総支部副委員長の基調報告、次に、全国一組の状況について、自治労元現業局長の松村良一氏の講演、続いて、地域住民が一組に望むこととのタイトルで、植田靖子氏を招き、問題提起を含む講演を行い、

質疑応答が交わされた。二日目は、「埋め立て処分場の民間委託攻撃」について都市整備環境支部の副委員長、斎藤満氏の講演、続いて一部事務組合労働課長、渡辺敦氏による「一組の今後の課題」と「将来展望について」の講演が行われた。

始めに、一組総支部の岡沢委員長は、先日、議員を引退表明した小泉元首相が実行した聖域なき構造改革規制緩和は、確実に終わりに近づいているように見える、清掃工場のアウトソーシングも民間でできるものは民間でというスローガン

も化けの皮がはがれてきたというところであり、私たちが、清掃工場の委託の危険性を訴え、改革のめたらした痛みにも、目を向けるべきではないか。

私達は、当初より一貫した清掃事業を求めて区移管には反対してきたが、ここに来て、いくつかの区では収集有料化の話もあり、サーマルリサイクルの実施、廃プラ処理にあつては、各々が違う対応が顕著に見られる。

ゴミ処理の現在状況を把握し、二十三区市民の期待に応える資源循環型社会を作り上げることも、本学習

## 一組総支部学習会を開催

### 清掃工場民間委託の見直しを求める

会の課題とも言える、楽しく熱心な議論を通じ有意義な会になるよう協力をお願いすると挨拶した。

### 基調報告

平成二十一年度 工場民間委託の見直しを求める要請書

私達、清掃一部事務組合で働く職員は、本庁及び一組が管理する清掃施設に於いて、東京二十三区域から排出されるごみの処理について、二十三区民の生活環境の保全と資源循環の推進の為に、日々全力で取り組んでいます。

そんな私たちが今一番心を痛めているのは、ここ数年、次々と私たちが働く清掃工場の現場に委託化の波が押し寄せている事です、品川工場の開設に伴い、

### 再雇用職員の雇用期間延長について回答

九月三十日、一組本庁の十四階打ち合わせ室に於いて、当局より提案があつた雇用期間延長について組合より回答を行った。

まず、三点について確認。本年度の対象人員は何人か。次に、延長回数延長は五回までの更新となるが、その後の延長について。三点目、任期付職員で退職する職員が六十五歳を超えて再雇用に応募した場合、延長が適用されるのか。また、昨年度の再雇用退職者や既に、一組を離れた元再雇用、再雇用職員についてどの取り扱いについてはどうなるかなどの確認をした。当局から、今年度の対象者は、四十二名、今回提案

の再雇用延長は、特に必要が生じた場合には、更新回数を五回まで延長し任用できる以上に延長しない。それ以上の延長はない。任期付職員についても適用条件を満たす場合には対象となるが、すでに退職している方は対象には考慮していない。との回答であり、一組総支部は、今までの経過を説明し、今後、再雇用職員をどのように位置づければならないか検討していかねばならない。基本的には、新規職員を採用し、技術的、技能を継承していく。一組を発展させていくべきと求めた。安易に委託化を促進させないために提案を重く受け止め、了解した。

### 活動予定と日程

- 11月5日一組総支部常任委員会
- 10日一組総支部ボウリング大会
- 12日一組総支部執行委員会
- 14日一組総支部委員会
- 19日一組総支部執行委員会

主な取り組み  
 専門委員会交渉、解明要求文化厚生活動の推進、各種同好会の実施、組織対策、異動問題、安全衛生課題、昼休み搬入問題、職員互助について、労働災害、アウトソーシング、労働災害、育児休暇等、賃金問題、賃金問題、座り込み行動、年末年始作業など、

### えんとつ

今、里山が人気が出てきた。ジブリや童話、アニメなどのシナリオの基本となり、人々の自然に対する関心が高まる。昔は、当たり前のようにどこにでもある風景だが、現代では、住宅開発で整地されてしまうこと、残念である。確かに自然の中に住みたい願望は誰にでもあり、阻むことも必要ないが、「そつとしておい」と願う気持ちもある。子供の頃、大雪が降り積もった真冬の秘密の空気に、誰も入れたくない気持ちのようである。私の住む、東京郊外西部地域にも、里山がまだ沢山あり、たまに散歩することある。カメラ片手に、野草や、どんぐりを見つけては、記録している。クヌギ、ナラの木や、どんぐり山も健在だ。手入れをしなくてはいけぬ里山だが、自然の力で生き延びていける環境を守らなくてはならないと感している。

(福)



